

経営比較分析表（令和6年度決算）

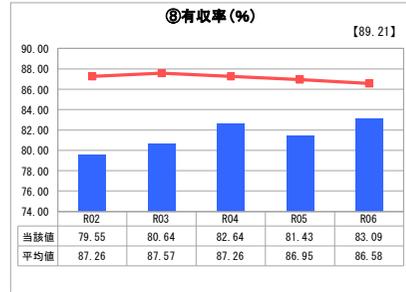
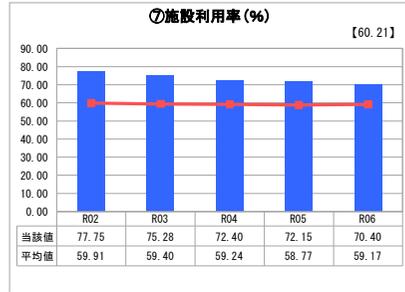
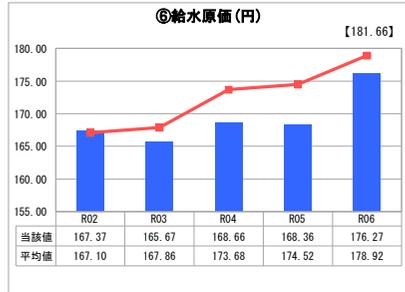
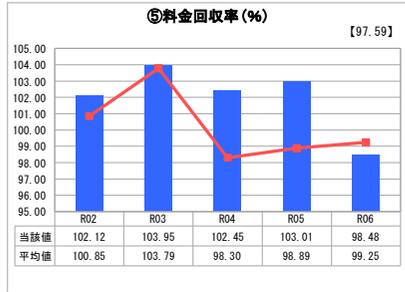
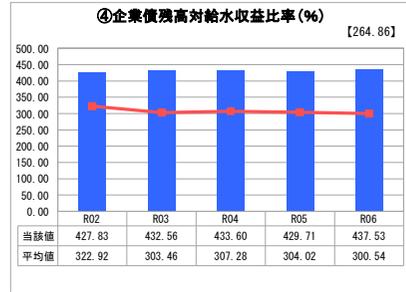
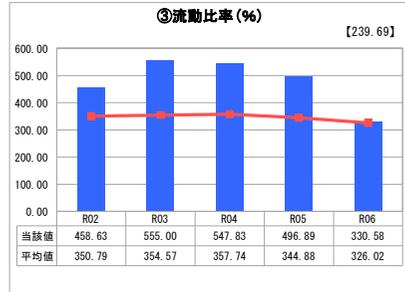
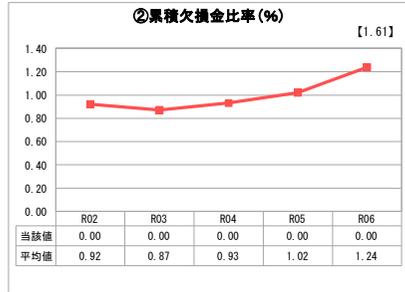
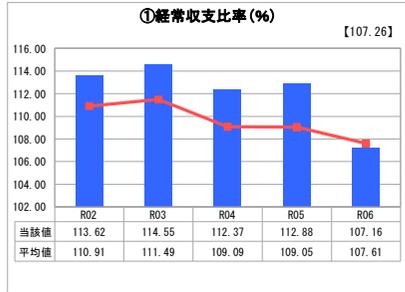
福島県 白河市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.79	95.86	2,343	

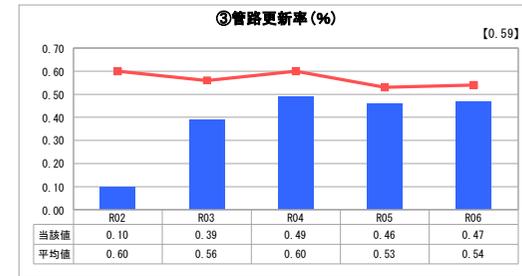
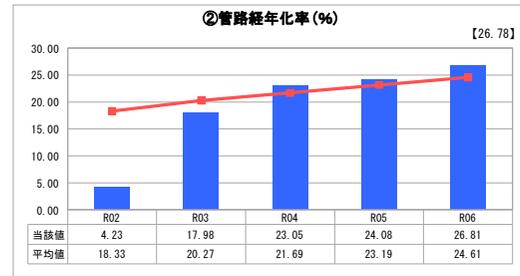
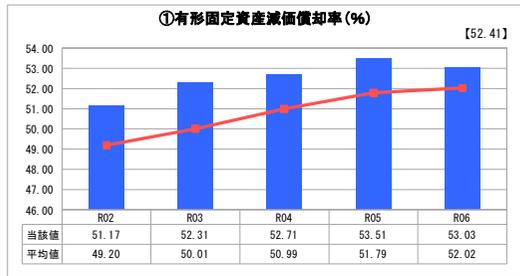
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,085	305.32	186.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
54,167	155.90	347.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、③流動比率の各指標は類似団体平均値を下回り、財務の健全性や支払能力は低下している。
 ④企業債残高対給水収益比率は、企業債の新規起債により、前年度より増加した。
 ⑤料金回収率は動力費及び委託料等の支出の増加により、前年度より減少した。
 ⑥給水原価は費用の増加により、前年度より原価額が増加した。
 ⑦施設利用率については、類似団体平均を上回ったものの、年間配水量が減少したことにより数値が減少した。
 ⑧有収率は前年度より増加したが、類似団体平均より水準が低い。

2. 老朽化の状況について

①建設改良工事を行ったことにより、有形固定資産減価償却率は前年より減少した。
 ②管路経年化率は増加傾向にあり、施設の老朽化が進んでいる。
 ③管路更新率は前年度より増加したが、類似団体平均値より水準が低い状態が続いており、引き続き計画的な施設更新を行う。

全体総括

経営の健全性・効率性の指標については、給水収益の減少に加え、物価高騰による動力費等の増加により、当年度純利益、料金回収率それぞれ前年度より数値が悪化している。
 類似団体平均値の比較においては、本市の数値は類似団体を下回っており、今後更なる人口減少により、厳しい経営環境が予想される。
 老朽化の状況も、前年度より数値が悪化し、類似団体平均値と比較しても数値が低く、今後施設の維持管理費及び管路更新の計画的実施による建設改良費の増加が見込まれる。
 今後、施設の統廃合など効率的な運営を行うと共に、官民連携・広域化を検討し、経費の削減に努めることで、経営基盤の強化とサービス向上を目指す。